

ご利用者と知り合い、いろいろなお話を聞けるのはとても貴重な体験。ご利用者との関わりにやりがいを感じます。

サービス提供責任者になったきっかけは、ホームヘルパーとして働いていた事業所で「サービス提供責任者をやらないか」と言われたこと。介護福祉士の資格を持っていたので、それを活かして働くことができました。

仕事では、コミュニケーションと信頼関係の構築を大切にしています。ご利用者、ご家族、ホームヘルパー、ケアマネジャーと連絡を取り合って、サービスがスムーズに行えるよう調整します。施設と違ってご自宅に訪問する仕事。ご利用者にとっては外部の人が家の中に入ることになるので、ご利用者に不信感を与えないよう、ヘルパーとしっかり情報を共有し、把握したうえでサービスを行っています。ヘルパーの研修は年間計

画をたてて月1回実施。サービスの向上に努めています。

ご利用者と知り合い、いろいろなお話を聞けるのはとても貴重な体験です。戦争の話、海軍の話。自分の子供たちにも聞かせてあげたいと思うような内容がたくさん。昔の写真を見せて下さる方もいます。このようなご利用者との関わりに楽しさややりがいを感じています。

サービス提供責任者になるには、介護福祉士の資格が必要。施設のように設備の整ったところでの介護ではないので、ある程度介護の経験のある方にお勧めです。私は介護の原点は在宅だと思っています。在宅はご利用者のご自宅で、お一人おひとりの状況や生活全般をとらえる力が必要になります。ご自宅での介護が難しくなってきたら施設という選択ももちろんありますが、できるだけ住み慣れたご自宅で快適に暮らしていただけるよう、サポートしていきたいと考えています。



できるだけ住み慣れたご自宅で、快適に暮らしていただきたい。

白楽荘在宅サービスセンター  
訪問介護部門  
係長 堺 佳代  
勤続年数 10年



堺の作品を施設内の受付などに飾っています。ご来荘の際はぜひご覧ください。

TOPICS

新しいインターンシップのかたち？  
助成金付インターンシップ

東京都では「福祉の仕事の本当を知りたいことが学べる」と題して、職場体験型インターンシッププロジェクトを実施しています。これは都内に在住または在学の福祉や介護を専門に学んでいない大学生、短期大学生、専門学校生等を対象とし、福祉や介護の職場で5日間のインターンシップを行う事業です。そして、なんと、このインターンシップに参加した学生には5日間で2万5千円の助成金が支給されます。事前登録制ですので、事業の詳細は「インターンシッププロジェクト」で検索してみてください。

TOPICS

在留資格と「介護」

介護人材の不足が大きな問題として存在しています。国は不足する介護人材の確保のために外国人介護士の受入拡充を図っています。一例を挙げれば、外国人の新たな在留資格として「介護」が認められました。日本の介護福祉士養成施設を卒業し、介護福祉士の資格を取得した方が対象となります。そうした背景からか都内の介護福祉士養成高校では、外国人留学生が増加しています。